



2017 8  
平成29年

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。  
お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

発行 ● 狛江市地域活性課  
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5  
☎3430-1111 FAX3430-6870  
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press  
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3  
ル・ミリオン・イイダ3階 A号  
☎3430-6617 FAX3430-6743

# 快適でエコな環境めざして



## 環境・リサイクル



エコまつりで廃食油石けん作り

### 環境を考える狛江市実行委員会

「環境を考える狛江市実行委員会」(山本八郎委員長)は、大気中の窒素酸化物の測定、河川の水質検査、酸性雨の測定など環境に関する基礎的なデータの収集をはじめ、6月の環境月間に狛江市役所などで催される「こまエコまつり」の運営、環境施設の見学会などを行っている。

全国各地で深刻な公害問題が起きていた昭和51年に市が募集して発足、環境問題に取り組む中心的な組織として活動を行っている。19人の委員が毎月会議を開催し、狛江市の環境についての現状を検討するほか、さまざまな調査分析を行っている。

委員長の山本さんは「発足当時に比べて環境はかなり改善されていますが、油断すればすぐに悪化するので、多くの市民に環境への関心を持ち続けてほしいです」と訴えている。

問い合わせ ☎3430-1287 狛江市環境政策課。

### プチトマトの会

「プチトマトの会(生ごみ堆肥化研究会)」

(会田節子代表)は、家庭から出る生ごみの減量を目的とした堆肥化の運動を進めている。

平成6年に「狛江市ごみ半減推進検討委員会」が設置され、その活動の一環として「生ごみ減量部会」が発酵促進材「ぼかし」を利用した生ごみ堆肥化のモニターを実施した。その後、計画の具体化と普及促進をはかる市民の自主的な組織としてプチトマトの会が同年に発足した。

年10回、ビン・缶リサイクルセンターで講習会を開き、これまでに約2,000人が参加、現在実践している人は年約600人を数える。

このほか、生ごみ堆肥化についてアンケートを実施して改善点を探り、市民の意識を調べるほか、地域センターなどで会の活動の報告を行ったり、市外での取り組みの事例を学ぶため、交流会や学習会へ積極的に参加している。

会では「食べ残しをしない」「皮やタネを食べて調理クズを減らし、ミネラル豊富な健康生活」をモットーにしており、農業や化学肥料を使わず、食の安全とごみ減量



生ごみ堆肥化の講習会

をつなげる運動の大切さを市民に普及していきたいと話しており、代表の会田さんは「台所からのごみ減量を始めることは地球の温暖化防止にもつながります。生ごみの堆肥で育てた野菜はとておいしいので、ぜひ参加してください」と呼びかけている。  
問い合わせ ☎3489-6003 会田さん。

### 布のリサイクル

狛江市清掃課は、ゴミを減らすためにさまざまな取り組みをしており、リサイクルに協力する市民団体(ビン・缶リサイクルセンター)の研修室を貸したり、講習会の連絡先になるなどの支援を行っている。

同市では、10数年前に市内の企業から大量の布が廃棄物として出されたのをきっかけに布のリサイクルに力を入れており、平成15年頃から市内に住む服飾デザイナーを講師に招き、さまざまな古布のリサイクル講習会を開催、その受講生が中心となってリサイクル団体が発足、連携して活動を行っている。

また、毎年6月の環境週間中には同センターで活動する団体が「こまエコリサイクル展示会」を開催している。

### さらこうぼう 彩染工房

裂き織りを中心とした古布再生に取り組んでいる。

裂き織りは、和服などの古い布をひも状に裂き、その糸で再び布を織る伝統的な技術。約15年前に狛江市ごみ半減推進審議会の委員のひ



裂き織りの技法を紹介

とりが都内のリサイクルセンターでその技術を学び、他の委員に呼びかけて14年前に発足した。集団回収で得た奨励金などで卓上型の織り機や付属品を購入し、廃棄する布の再生に取り組むとともに、その布で袋物やベストなどを製作、消費生活展や中央公民館のショーケースなどで展示し、市民の関心を高めてきた。

現在は会員9人が、毎月第1・3水曜日にビン・缶リサイクルセンターで古い布の仕分け作業や、毎年開催されるリサイクル展に向けた作品の製作に取り組んでいる。また、夏休みには地域の小学生を対象にした体験学習会を開催しており、こまは手製の簡単織り機でコースター作りを指導したほか、廃油の石けん作りを実施した。

問い合わせ ☎090-6512-3266 惣川さん。

ふらり (矢野広代表)は、布楽履 古いシーツや浴衣などを使って布草履を制作している。

清掃課の資源ごみ削減の趣旨に賛同し、平成25年に発足した。同会では、主に木綿の古布と梱包用のひもなどを利用して製作した一般的な草履のほか、鼻緒に

西陣織の帯などを使ったオリジナルの布草履なども製作し、注目を集めている。

同会では、毎月第2水曜日午前10時から午後4時まで狛江市ビン・缶リサイクルセンターで講習会を開いており、参加希望者が多い時は順番待ちも出るほど好評だ。

問い合わせ ☎090-9391-4142 菅原さん。

### リメイクの会

(笠間喜代代表)は、不要になった着物や帯、ネクタイなどを袋物、ベスト、チュニックなどに作り替える活動を行っている。

他の手芸団体と異なり、ゴミ減量を会の目的にしており、現在13人の会員が毎週木曜



古布を使って草履作り

日にビン・缶リサイクルセンターに集まり、古布に合わせて洋服や袋物、小物の型紙を作ったり、縫い方などを教え合う。年数回開くシャツ、チュニック、バック作りなどの講習会で指導したり、夏休みに子どもを対象にした小物作りの体験教室などにも協力している。

問い合わせ ☎3480-0786 笠間さん。



子どもたちにリメイクを指導

## 8月の催事記

書道展～19日 田11:30～15:00 カレーショップ・メイ ☎ 赤塚 ☎ 3480-3468 カレーショップ・メイ  
パッチワーク狛江サークル作品展 2日 田9:00(初日10:30)～21:30(最終日15:00) 中央公民館。小物、クッションなど約20点 ☎ パッチワーク狛江サークル ☎ 080-5477-9471 斎藤  
原発事故被災状況と支援活動報告 2日 田9:00(初日11:00)～21:30(最終日16:00) 中央公民館 ☎ こまえ平和フェスタ実行委員会 ☎ 3480-7477 西尾  
ジャムセッション(ジャズ) 3日 田19:30add9th ☎ 3480-4996add9th  
ツンさんの福島支援報告 10日 田19:00～21:00 中央公民館。映画[MARCH] 上映と報告 ☎ こまえ平和フェスタ実行委員会 ☎ 西尾  
ジャムセッション(ジャズ) 10日 田19:

30add9th 田add9th  
ライブ 11日 田20:00add9th 田add9th  
お昼のジャム・セッション(ジャズ) 12日 田14:00add9th 田add9th  
うたごえステーション 14日 田17:00  
焼き鳥ミートステーション ☎ みんなの歌声広場 ☎ 090-9808-2810 大熊  
水曜美術作品展 16日 田9:00(初日12:00)～21:30(最終日16:00) 中央公民館。11～12点 ☎ 水曜美術 ☎ 3480-9746 熊澤  
ポンテ活動紹介 16日 田9:00(初日12:00)～21:30(最終日12:00) 中央公民館。ポッチャ(スポーツ) 活動紹介 ☎ 狛江活動センター ☎ 3480-2794 萩原  
アコースティック・ジャム・セッション 16日 田19:30add9th 田add9th  
ジャムセッション(ジャズ) 17日 田19:30add9th 田add9th  
夏休みわくわく!クラフト体験教室 vol.10 19日 田～26日 田10:00～18:00(最終日17:30) 泉の森会館。全13

講座 ☎ 泉の森友の会 ☎ 5497-5444 泉の森会館  
add9th セッション 19日 田20:00add9th 田add9th  
夏の夢(陶芸・イラスト) 21日 田9月16日 田11:30～15:00 カレーショップ・メイ ☎ 谷口 ☎ ひとみ ☎ カレーショップ・メイ  
みんなのうたごえ広場 23日 田14:00 みんなの広場 ☎ みんなの歌声広場 ☎ 大熊  
ジャムセッション(ジャズ) 24日 田19:30add9th 田add9th  
ライブ 25日 田20:00add9th 田add9th  
BLUE MOMENT-宝塚との出逢い- 26日 田16:00 エコルマホール ☎ 3430-4106 (一財) 狛江市文化振興事業団  
ライブ 26日 田20:00add9th 田add9th  
ジャムセッション(ジャズ) 31日 田19:30add9th 田add9th  
\*イベント名、開催日・期間、開始時間、会場、内容、☎ 主催、☎ 問い合わせ先(2回目以降は電話番号省略)の順。